

令和4年度学校保健・学校安全・学校給食表彰 (文部科学大臣表彰) について

1 表彰の趣旨

学校保健の普及と向上に尽力し多大の成果をあげた個人、学校及び団体、並びに学校給食の普及とその充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校、共同調理場、功績のあった個人及び団体を文部科学大臣が表彰します。

2 本県の被表彰者（令和4年度学校保健及び学校給食表彰（文部科学大臣表彰））

① 学校保健関係

〔個人〕 後藤 寛（ごとう ひろし） 学校医

昭和62年から五條市立五條小学校をはじめ、学校法人智辯学園（中等部・高等部）で通算30年以上、長きにわたり学校医を継続して務められ、児童生徒の健康増進に寄与された。

また昭和63年から平成17年までは五條市医師会理事、平成18年から平成29年まで同医師会副会長、平成30年からは再び同医師会理事を務められた。更に平成18年から平成29年まで奈良県医師会学校医部会評議員、平成29年から現在まで同医師会学校医委員を務められ、学校保健活動の発展・推進に尽力されてきた。平成18年には五條市学校保健会会長として、学校医の資質向上のための活動をとりまとめ、その他にも学校保健に関する委員等を複数務めるなど、児童・生徒の育成に積極的に取り組まれてきた功績は大きいものがある。

平成16年から現在に至るまでは、五條市就学指導委員として特別な教育的支援を要する幼児、児童・生徒とその保護者に適正な就学指導および支援を行うなど、各学校や教育委員会等と連携を図りながら地域医療の向上に努められている。

その他、五條市学校給食センター運営委員としては、学校教育者ならびに保護者等に向けた食物アレルギー研修会の開催に携わるなど、市内の食物アレルギー児童、生徒への対応にも尽力されている。

〔個人〕 岡本 吉一（おかもと よしかず） 学校歯科医

関屋幼稚園、関屋小学校の学校歯科医を49年の永きにわたり務め、学校保健の発展

向上に尽力したほか、8020運動の普及や「健康かしぼ21～第2次香芝市健康増進計画」を積極的に推進し、自治体が推進する健康増進法にも精力的に取り組み、学校歯科医として園児や児童の口腔衛生知識の普及啓発に大いに貢献された。

〔個人〕 平井 文吾（ひらい ぶんご） 学校薬剤師

昭和52年より大宇陀町(現：宇陀市)、東吉野村の学校薬剤師として40年以上もの長きにわたり、複数の幼稚園・小中学校の学校薬剤師を担当し、児童・生徒の保健管理ならびに学校保健の向上に貢献された。また、昭和61年より県立室生高等学校(現：榛生昇陽高等学校)を20年担当し、平成9年からは県立大宇陀高等学校の学校薬剤師として長年、学校環境衛生検査に尽力し、環境衛生の向上に努めてきた功績は顕著である。

また、奈良県薬剤師会 学校薬剤師部会 幹事および宇陀支部長を務め、長年、支部内で指導的役割を担い、地域の学校薬剤師と相互協力し、地域における学校保健活動の向上に尽力し、児童生徒の健康維持に貢献された。

〔個人〕 藤岡 夏枝（ふじおか なつえ） 養護教諭

39年の永きに渡り養護教諭として学校保健の推進に尽力されている。平成24年から平成30年まで、奈良県高等学校等養護教育研究会の副幹事長・幹事長・副会長を歴任し、自身の経験で得られた知識だけでなく、常に新しい知識や研修方法を取り入れて広めることで高等学校等に所属する養護教諭のスキルアップに努められた。また、同研究会幹事長在任時には、新たに「企画委員会」を立ち上げ、経験の浅い養護教諭が様々な研修に参加することを支援し、そこで学んだことを研究会へ還元する組織づくりをするなど、本会の発展に大いに貢献された。

また、第72回近畿養護教育研究大会においては大会実行副委員長を務め、1,400人を超える参加者を迎え大会の成功に尽力された。

さらに、平成15年度の第33回全国性教育研究大会(栃木県)においては、「高校における性教育の実践発表—小さな部屋からの発信—」を、また平成17年度全国養護教育研究会(奈良県)においては、「豊かな人間性を育む性教育」の題で研究発表されるなど、学校保健活動の発展に寄与している。

〔個人〕 横地 博子（よこち ひろこ） 栄養教諭

昭和62年4月から平成19年3月まで奈良県内の学校栄養職員として、また、平成19年4月からは栄養教諭として安全・安心で魅力的な学校給食の実施や、学校全体で取り組む食に関する指導の充実に熱心に取り組まれている。

平成28年からは、奈良県学校保健会栄養教職員部会のワーキンググループ（栄養管理班）の委員として、さらに、令和3年度には奈良県教育委員会が作成する「学校給食ハンドブック」の作成委員として尽力された。

また、令和元年には文部科学省委託事業「つながる食育推進事業」の実践モデル校として取組を進め、義務教育の9年間を見据えた「橿原市食育プログラム」を作成するなど、リーダー的役割を果たし、市内の栄養教諭等のスキルアップに大いに貢献している。

さらに、奈良県学校給食栄養研究会の運営においては、副会長、会長を歴任し、現在は顧問として携わる等、勤務校及び橿原市内のみならず、県内の様々な活動において幅広く尽力されている。